

公益財団法人福岡県教育文化奨学財団

電話設備賃貸借

仕様書

令和6年12月

目次

1. 概要
 - 1.1 概要
 - 1.2 工事納入場所
 - 1.3 契約期間
 - 1.4 工事内容
 - 1.5 搬入
 - 1.6 試験
 - 1.7 仕様書の疑義
 - 1.8 検査および検収
 - 1.9 その他
 - 1.10 保証
 - 1.11 申請手続
 - 1.12 提出図書
 - 1.13 実績
 - 1.14 保守
2. 電話交換機 機器仕様
 - 2.1 電話交換機
 - 2.2 電話交換機停電用バッテリー
3. 端末 機器仕様
 - 3.1 デジタル多機能電話機
4. 工事
 - 4.1 電話交換機据付け及び、撤去工事一式
 - 4.2 内線通話試験及び、外線試験一式
5. 操作指導

1. 概要

1.1 概要：

本仕様書は公益財団法人福岡県教育文化奨学財団（以下「財団」という）に設置されている電話交換システム更新について規定するものである。

1.2 納入場所：

福岡県福岡市博多区吉塚本町 13-50 福岡県吉塚合同庁舎 5 F

1.3 契約期間：

納期

契約を締結した日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで

賃貸借期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 1 3 年 3 月 3 1 日まで(72 ヶ月)

1.4 工事内容：

(1)電話交換システム更新工事

本工事は、財団へ電話交換システム本体、電源装置、周辺機器等を設置し、各フロアでの多機能電話機の取替えおよび、FAX の接続工事を行うものである。

(2)撤去工事

財団内に設置されている電話交換システム本体、および電源装置、周辺機器、電話機等の撤去を行う。

また、不要になった付帯装置およびケーブル類も撤去することとする。

1.5 搬入：

搬入経路、その他現場の状況を考慮し、安全に据付場所へ搬入することとする。

1.6 試験：

機器据付工事完了後、総合試験を行うこととする。

1.7 仕様書の疑義

ア、本仕様書に指示された事項等に疑義が生じた場合は、直ちにその理由、変更内容を申し出て財団及び受注者協議の上決定するものとする。

イ、本仕様書に示されていない事項であっても、社会通念上当然必要と認められる事項は、速やかに財団に連絡の上指示を受け受注者の責任において施行するものとする。

1.8 検査および検収：

本仕様書に基づき検査を行い、立会監督職員の検査合格をもって検収を行うこととする。

1.9 その他

現場調査を実施の上、質疑及び応札を行うこととする。応札にあたっては事前に納入予定の電話設備のカタログを提出し仕様を満たしていることを説明すること。受注者は本事業の施工にあたって、財団と入念に打合せを行い施行すること。やむを得ない事情により仕様変更が必要になる場合は、財団及び受注者協議の上行うものとする。

1.10 保証：

検収後 1 年以内に設計、製作および、工事不良によると認められる事故が発生したときは、すみやかに修理を行うこととする。

1.11 申請手続：

本工事の施工、完成に必要な通信事業者への申請手続きは、受注者が代行することとする。

1.12 提出図書

本工事完了時には完成図書 1 部（A4 版ファイル）を提出する物とする。

- (1) 工事写真（工事前と工事後の写真）
- (2) 完成図
- (3) 電話機取扱説明書（必要部数）
- (4) 産業廃棄物処理のマニフェスト又は産業廃棄物回収証明書
- (5) その他監督職員が要求する物

1.13 実績：

福岡県若しくは福岡県以外の地方公共団体又は国（独立行政法人等を含む。）の発注による、同種同規模(電話設備更新工事)の元請による完工実績を有すること。

1.14 保守：

保守契約は本仕様に含まずに、財団及び受注者協議の上検討するものとする。

2. 電話交換機 機器仕様

2.1 電話交換機：

2.1.1 概要：

- (1)本電話交換機は、電話交換機本体、電話機、電源装置、他周辺装置により構成され、下記の通話を行うことを主な目的とする。
 - ①内線相互通話
 - ②内線と外線間通話
- (2)本電話交換機、構内交換設備に関する技術基準及び関係ある法令規格等を満足するものとし、最新機種とする物とする。

2.1.2 機器数量・回線数：

	項目	実装	容量	備考
本体	電話交換機		一式	Aspire-WXPlus 同等以上
	INS64 回線	4 回線	4 回線	
	アナログ内線	1 回線	4 回線	FAX 用
電話機	24 ボタン多機能電話機	29 台	32 台	※ 1

※ 1.実装 29 台と予備機 1 台として、合計 30 台納入することとする。

2.1.3 方式：

通話路方式	PCM 時分割一段スイッチ
制御方式	蓄積プログラム
プロセッサ	32 ビットマイクロプロセッサ
中継方式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中継台方式 (DSS コンソール) ・ 個別着信方式 ・ 分散応答方式 ・ 追加ダイヤルイン方式 ・ 直結式応答方式 ・ NTT ダイヤルイン方式

2.1.4 トラヒック条件：

内線電話機 1 回線あたりの標準発着呼量は 6.0HCS とする。

2.1.5 構造：

- (1) 「19 インチラック搭載」「卓上設置」「平置き設置」「縦置き設置」「壁掛け設置」の設置形態が可能な構造とする。
- (2)基本モジュール+拡張モジュール 及び、19 インチモジュールの専用ハードウェアにより高信頼性を確保し保守点検が容易な構造とする。
- (3)柔軟な拡張性を有し、内線最大 960 ポート、外線最大 400 ポートまでの拡張が可能なこと。
- (4)使用部品は、欧州 RoHS 指令に適合し、有害物質を定められた閾値以上含有していないこと。
- (5)障害等の円滑な対応が出来るよう、無償のクラウドによる設定変更等が可能なこと。

2.1.6 環境条件：

- (1)周囲温度：0℃～40℃
- (2)相対湿度：10%～90%(結露しないこと)

2.2 電話交換機停電用バッテリー

停電対応最大 10 分間とすること。

3. 端末 機器仕様

3.1 デジタル多機能電話機：

3.1.1 機能ボタン数 : 24 ボタン他、保留、転送、フッキングの固定機能ボタン

3.1.2 LCD ディスプレイ : 全角 14 文字×4 行表示(バックライト付き)で可動式とする。

3.1.3 ケーブル : 4 芯モジュラーケーブル

3.1.4 その他機能要件：

(1)電話機本体は変更せずにカラーサイドパネルの着脱が可能。また、アダプタを増設することで外部通話録音装置の接続が可能なこと。※アダプタは別途調達とする。

(2)ユニバーサルデザインの電話機とし、テンキーおよび、LCD ディスプレイはバックライト付きとすること。

また、テンキー輝度半減が可能、弱視者を考慮した LCD ディスプレイの白黒反転、縦倍角文字での表示が可能なこと。

(3)不在着信や、新規のボイスメール受信があった場合には、LCD ディスプレイ上にアイコン表示できること。

(4)電話機の利用状況によって適切な操作をサポートするソフトキーが利用できること。

(5)発着信履歴をそれぞれ発信 50 件、着信 50 件蓄積ができること。

(6)外線着信時には効率的な電話対応を図る為、工事時に予め設定した着信時付加情報を 3 行表示できること。

(7)夜間、休日などに指定された外線の着信を、ボイスメールの留守番電話で対応させることができること。

(8)通話録音機能として約 40 時間の録音ができ、外線通話が開始されたときに自動的に通話録音ができること。

また録音メッセージ再生中に、発信者番号を表示でき、番号が表示されている場合、発信ボタンを押すことで、発信することができること。

4. 工事

4.1 電話交換機据付け及び、撤去工事一式：

4.1.1 施工時は、建物その他既存の構造物及び機器等に損傷を与えないように十分注意し、毀損した場合は担当職員の指示に従い、速やかに復旧または修理を行うこと。

4.1.2 機器の搬入、設置等の際、安全管理を十分協議し、事故の無いように行うこと。

4.1.3 既存電話交換機から新電話交換機への切替え方法については、事前に十分協議をした上で行うこと。

4.1.4 切替え後の既存電話交換機の処理については、担当職員の指示に従うこと。

4.2 内線通話試験及び、外線試験一式：

4.2.1 納入業者は切替え後、内線通話、外線通話の発着信、及び通話品質に問題がないことを確認すること。

5. 操作指導

導入後は、取扱説明書を作成の上、操作説明を実施すること。

以上